

報告書の提言の概要

資料3

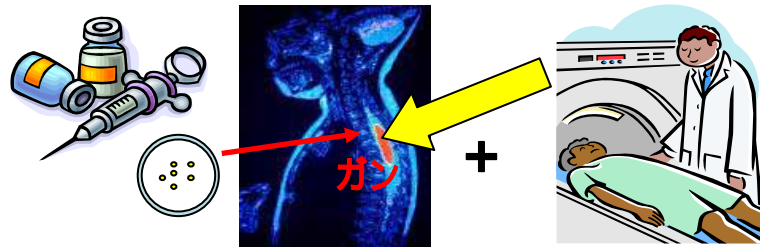
	物			物の製造方法	最終的な診断を補助するための人体のデータ収集方法	手術、治療、診断方法
	用途発明	専門家の予測を超える効果を示す新用法・用量 医薬				
現在の運用			×		×	×
新運用						×
報告書の提言	組合せ物の発明が特許対象であることを 明確化 すべき	生体由来材料からなる製品の用途発明が特許対象であることを 明確化 すべき	新たに 特許対象 とすべき	生体由来材料の生体外プロセスの発明等が特許対象であることを 明確化 すべき	新たに 特許対象 とすべき	機械、器具の使用方法に特徴のある発明を特許対象とすることは、現時点では、適当でない。
具体例	物理刺激を用いたDDS、磁場発生装置を用いた再生医療システム	培養口腔粘膜細胞よりなる角膜治療用組成物	副作用や生活の質(QOL)を劇的に改善するなど 用法・用量の刷新により専門家の予測を超える効果を示す 医薬の発明	細胞の分化誘導方法、分離・純化方法等	MRIやX線CTによる画像撮影の仕組み	血管中閉塞物の除去の仕方等

()手術、治療、診断工程を含まない測定方法の発明

報告書の提言の概要(具体例)

<物理刺激を用いたDDS>

(DDS: Drug Delivery System)

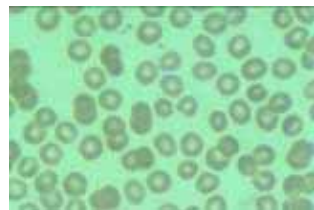


温度応答性機能付加
ナノ粒子抗ガン剤

局所加温装置

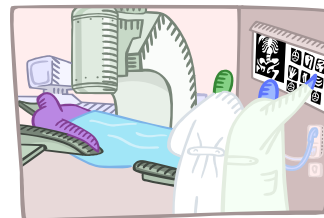
(局所加温により抗ガン剤を目的部位へ効果的に作用)

<磁場発生装置を用いた再生医療システム>



鉄粉を付着させた細胞

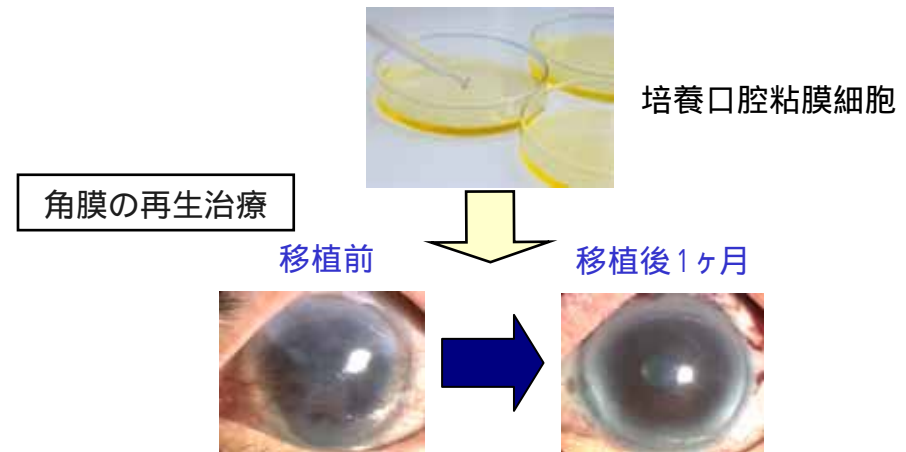
+



強磁場発生装置

(磁場を用いた細胞の目的部位への誘導)

<培養口腔粘膜細胞よりなる角膜治療用組成物>



<用法・用量の刷新により専門家の予測を超える効果を示す医薬>

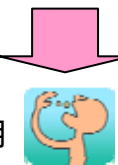
当初の用法・用量 毎朝服用 副作用予防のため、朝食前の30分間直立することが必要



患者の生活を著しく制約

新用法・用量

1週間に1回服用

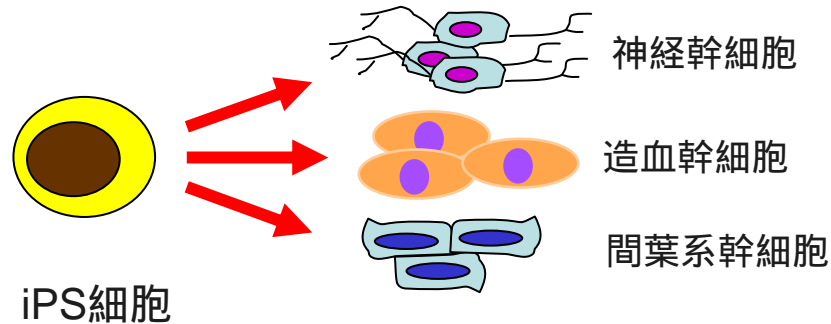


副作用を低減するとともに、患者の生活の質(QOL)を劇的に改善!

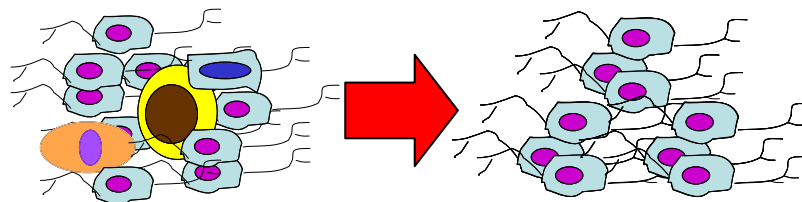
報告書の提言の概要(具体例)

<細胞の分化誘導方法、純化方法等>

<分化誘導方法>



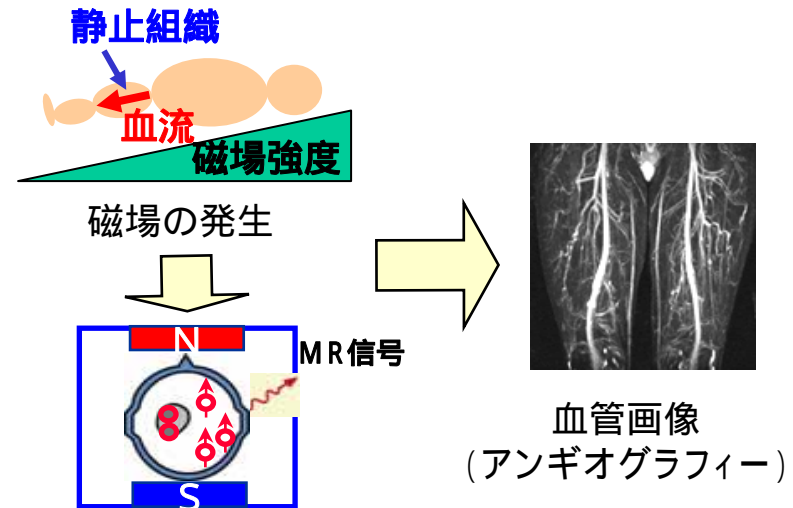
<分離・純化方法>



未分化のiPS細胞や他の分化細胞が混在

神経幹細胞だけ

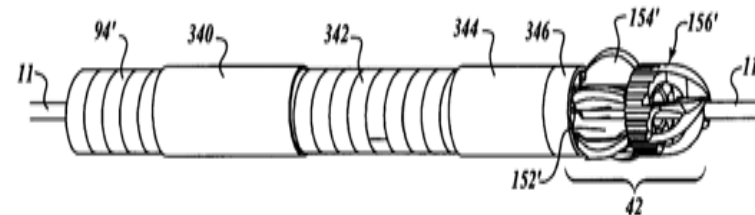
<MRIやX線CTによる画像撮影の仕組み>



体内の水素原子核がMR信号を発生

傾斜磁場方向に沿って移動する血流が他の静止組織とは異なる位相の磁気共鳴信号を発生する性質を利用して、造影剤を使用せずに血管画像(アンギオグラフィー)を撮影。

<血管中閉塞物の除去の仕方等>



カテーテル先端に2種の切削刃を設けた上図の切削装置を取り付け、血管内を通過させつつ除去を行う。